

太鼓や音楽でつなぐ笑顔の輪 ～体も心もたくましく～

やってみたい!!挑戦したい!の一人ひとりの好奇心を全力応援!!
子ども達の声にとことん耳を傾け、新たな気づきを大切に心の根っこ
を育てていきます。



輝け!
未来の子ども達!!

社会福祉法人北信福社会
ほくしん保育園 あづま保育園

《夢中になって遊びこむ経験》

遊びを通して子ども達の好奇心は次へ次へと広がっていきます。

子ども達のキラキラした笑顔の輝き、「チャレンジしてみたい!!」「どうなるんだろう？」の探究心は、失敗体験・成功体験の繰り返しの中で培っていきます。子ども達一人ひとりが未来に夢を抱き、はばたいていけるよう、心の根っこをしっかりと育てていきたいと思います。



保育雑誌PriPri（プリプリ）に 『魅力ある園』で掲載されました



家でも挑戦?! 保護者の声

「子どもが夢中になって遊んでいたの、家でも挑戦してみます」「きょうは、ちまきをたべるから、ぜったいにやさない!」と早起きしてはりきって登園しました!という声がありました。



じぶんでつくると
おいしいね!



109こもできたよ!

食を通して気づき、 理解を深める

次の日、おやつ時間にみんなで作ったちまきを食べました。食べながら会話が弾み子どもたち。「ちまきのははさきのはだよね」「たなばたでかざるのってしょ!」「たけだこにもつかわれているよね」と、今までの経験と結びつき、身近にも箸の裏が使われていることを発見したようです。

4 笹舟を作ってみる

食後にちまきの笹を使って笹舟を作ってみました。笹舟が水に浮かぶ様子を、「ラプンツェルみたい!」と目を輝かせたり、「どうしてうくんだらう?」と不思議そうに見入ったりしていた子どもたち。笹の葉を身近に感じながら、イメージを膨らませ、発見を楽しんでいました。



みず
に
うかん
だ!



地域の特色ある保育と伝統の学びが結び付く
毎年、旧暦の端午の節句にあたる6月にちまき作りを行っています。コロナ禍で地域の方との交流の場が減ってきているため、日本の伝統行事を学ぶ機会として、地域の人に協力してもらい実施しました。前年度より、福島市の「特色ある幼児教育・保育プロジェクト」で竹太郎に触れており、竹について調べた経験があったため、ちまき作りを通して「ちまき」と「笹」が結び付き、いろいろな活用の仕方があることも気付けた活動になりました。

触れ合いを楽しみながら伝統を学ぶちまき作り

ほくしん保育園(福島県)

ようしくおねがいします!



1 ちまき作りの由来を聞く

まずは保育者からちまき作りの由来を伝え、今回ちまき作りをしてくれる地域の人たちを紹介しました。地域の人の中に子どものおばあさんもいたため、和やかな雰囲気ながらも、由来についての話には、興味深そうにしっかりと耳を傾けていました。

2 地域の人に教わり 一緒に作る

グループに分かれた後、地域の人にお手本を見せてもらいながらちまき作りに挑戦。丸めた笹のなかに生米を入れる工程が難しかったものの、こぼれる様子を「すなだけみたい!」と失敗も楽しんでいた子どもたち。自分で結んでひとつできあがると自信が付き、「もっと作りた!」と何個も作っていました。



作り方を覚えるとどんどん楽しくなり、集中して約40分以上取り組みました。みんな109個も作ることができました。



できた!

《様々なカリキュラムからのつながり》遊び込む事が学びへの土台となる



《 乳児期で出会う 音・音楽へのつながり 》

鳴らす

- ★指先や手首の筋肉
- ★手と目の協調

叩いたら音が出た



振る・たたく



どうすれば大きくなる？
どんな音がする？



音への理解の深まり

やさしい自然な音に触れる
ことで聴覚が刺激され、
感覚器官と体の動きが協応
され、感受性が育ちます。

聴く

- ★空間認識
- ★聴覚

人の声や音が鳴るもの
への興味



音がする方を向く



音を聞き分ける
(大小・高低)

奏でる

- ★記憶力
- ★リズム感
- ★集中力

音に合わせて手をたたく



リズムをまねる・繰り返す



友達と合わせる心地良さ



《遊びが音楽になる時》～自由遊びから 太鼓へのつながり～

「トントントン」

＜みたて遊び＞

～発想力により広がる瞬間～



「何だか楽しそう」

「ハンバーグだよ」

「太鼓の音みたいだよ」

イメージがふくらむ

「えー！？太鼓！？私もやる」「どうやるの？」

発想力・創造性・憧れ



意欲・好奇心が遊びの中から



新たな取り組み

楽しみながら音楽に触れていく



◎ロディヨガ

発達中の子ども達の運動神経、
バランス感覚、心と知性の健やかな
発達を促します。



体の軸づくり

◎鍵盤ハーモニカ

指を動かすことで脳トレになり集中力も
身につきます。また、吹くことで心肺機能
も鍛えられ、脳が活発になります。
平常心・やる気・集中力へつながります。



音が出たよ！
楽しい！！

子どもの頃楽しんだことは、
大人になったとき活かされます

竹太鼓の竹と筍のつながい

タケノコって
竹太鼓の竹に
なるんだぁ・・・？！



どうやって
むけるの？



さわってみたら
フワフワするね



どんどん
むけるね！



たけのこ製作への
つながり
(造形活動)



みんな
真剣！！

竹を使った様々な遊び～SDGsへ～

昨年の竹太鼓を…
短く切ってみたら、あっという間に
おもちゃに変身！
子ども達の発想力は無限大です！！

土に埋めたら
トンネルみたい！

穴が開いてる！水を入れ
てみよう～

夢中で遊ぶ姿

こうしたら
いいんじゃない？



竹太鼓とのつながい・気づき・発見

水に
うかんだよ！



笹舟作りにも挑戦！



地域の方と一緒に毎年取り
組んでいる季節の伝統行事
「ちまきづくり」！



老人ホームの方
との交流



竹太鼓の竹とたけのこ
っておんなじなの！？



私でも役に
立つんだね

実はちょっと練習
したんだよ(˘▽˘)

《異年齢児とのかかわり・ひきつぎ》

憧れの気持ち・年下児への思いやりの芽生え

バチの持ち方・構え方・打ち方を
年下児が個別に引継ぎ

真剣なまなざしと
丁寧な教え方に年中児も
集中して学ぶ姿

太鼓を目標と
書初めにする子

さくら組さんに
教えてもらって
ちょっと恥ずかしい

～年長児としての思い～
「どんな風に伝えたら楽しいと
思ってくれるかな？」
「みんなにも好きになってほしい」



竹太鼓や太鼓で
楽しかった事を
絵で表現する子ども達



《子ども達の自主性を大切に取り組んでいく》

- ・ 太鼓に触れたい、叩くことが楽しい。
- ・ 「上手に出来ない」「力が出ないんだ」
- ・ 恥ずかしいから力いっぱい叩けない。



**サークルタイムで
話し合い考えていく**

ご飯をいっぱい食べたら力が出るかも？
「僕が好きな『なべ』にしてみよう」



**保護者へ状況を伝え
相談する**

1人ひとりの気付きや不安、意欲に寄り添い、
保護者の方と一緒に取り組んでいく

前年度からのつながり

- ・「格好いい！ 私たちも、もっと出来るようになりたい」
- ・一生懸命頑張れば、間違っても恥ずかしくない！！

少しずつ友達の音を聴く力が身につき、
合わせようとする気持ちが芽生える

『結・ゆい・フェスタ2024』
で発表

一人ひとりが全力で
取り組もうとする
姿勢・意欲が増す

【育ってきていること】

- ・相手を意識し一緒に取り組み、励ます力
- ・音を聴いて合わせようとする力
- ・やり遂げた自信と乗り越える力

相手への思いやり 仲間意識の芽生え



《他園・姉妹園との交流からのつながり》

仲良くなった友達に太鼓を見て欲しい！

他園の友達といろいろな太鼓に触れながら交流

太鼓をきっかけに互いの園を行き来し、
田植え体験や太鼓遊び、運動会ごっこなど
沢山の交流が出来ました。

先生のカゴに、
どっちがたくさん玉
を入れられるかな？



竹太鼓やってるの？
一緒だね。



「福の歌」を一緒に
叩いてみよう！！

リモート交流中

他園の友達との関わりや他園ならではの
環境の中で、一緒に思いっきり遊ぶこと
で沢山の学びがあります。

「小学校でまた会おうね」という言葉も
聞かれ、友達の輪が広がりました。

《世代間交流》相乗効果の表れ～地域への発信・つながり～

見てほしいなあ！
こんなこともやっているよ！
喜んでもらえて
とっても嬉しい



交流を通し、地域の
老人ホームのおじいちゃん、
おばあちゃんへ元気を届ける
活動を行ってきました。



触れ合う機会が多くなり、老
人ホームの方と親しみを感じ、
優しさが自然に芽生え「また
来るね」と自分達から温かな
関わりが持てるようになって
きました。

《地域の方とのつながり》



地域の方との距離が近くなる

◎触れ合いが楽しみ

「やってみよう」という期待

◎次のステップへの意欲
◎地域の方との貴重な体験



発見・気づき・探究心

◎もっとやってみたい
◎できるかな？
◎次はどうなるのかな？



異年齢間での輪

年下児へ教えてあげたいな！
みんなでやってみたいな！



交流の輪・温かな気持ち・リスペクトの芽生え



《一人ひとりが、心からやりたいと思えるものに出会う》

遊び感覚

非認知能力（人間力）

傘をみんなでまわしたら
どうだろう

ダンスも踊って
みたい

分かれて
叩いてみたら？



子ども達が自分達で振り付けをし、
やってみる事
お互いの意見を聴く力、打開策を
見出していく

楽しさ
意欲

《多様性の中で共に育ち合う》「児童発達支援センター宙」との交流

全ての子ども達が主体の保育
活動・遊びに夢中になって遊び込む力の原点に



達成感
満足感
自己肯定感
感受性

想像力 創造力
好奇心 探究心

楽しんで
遊び込んでいく
体験

意欲・関心
気づき
発想力

自己発揮
身体機能の構築
自発性



《心も体もたくましく 生きる力の土台づくり》

学びに向き合う力

礼儀作法を学び、沢山の方とのつながりを通し、感謝の気持ちを育んでいます。子ども達が自ら太鼓を楽しみ、遊び込んでいく中で、めげずに挑戦する心、リスペクトする気持ちを培っています。

太鼓を通じての成長

年長児への憧れの気持ちが育まれ、双方に向上心が芽生えます。友だち同士、失敗と成功の繰り返しを体験し、チームワークの中で思いやりの心が育ち、多くのことを学び好奇心が広がっていきます。

生きる力を育むために

「意欲・関心」の芽生え、挑戦することで「達成感・満足感」を得、沢山の方とのつながりから気づきの心や協調性を培い、もっとやってみたいという気持ちが「自己発揮」や「粘り強さ」に繋がっていきます。

子ども達が将来大きな花を咲かせる 「心の根っこ」をつなぐ輪

子ども達の新たな発見につながるよう、一緒にワクワク・ドキドキ
楽しみ、笑顔あふれる保育園であるよう取り組んで参ります。

思いやりの心、自分達で考える力を育ていけるよう、サークル
タイムを取り入れ、子ども達一人ひとりの自主性・主体性を大切に
しています。

心の豊かさはすぐに目に見えるものではないですが、少しずつ丁寧
に積み重ね、幅広い視点で保育・教育を行っていきたいと思います。